

ファンティックのヤング・スターたち、マディのポルトガル GP でも注目を集める。



フランチェスコ=ベレイは欧州選手権 EMX でファンティック XX125 を表彰台に持ち込んだ。プレミア・クラスである MXGP ではグレン=コルデンホフとアンドレア=ボナコルシがともに 6 位以内を確保。力強い結果を記録した。

豪雨がポルトガル GP の舞台、アグゥエダを襲い、赤土は見事なまでの泥のプールと化した。グレン=コルデンホフはしかしその直前、公式練習で 2 番手のタイムを記録。公式予選でも 7 番手を確保した。

しかし天候はすべてを複雑にした。予選レースは完全なマディ。「ザ・ホフ」は理想的とは到底言えないスタートから 1 コーナーでは完全に中団に埋没してしまっていた。1 周目はまさにカオスで、その中にはブライアン=ボ

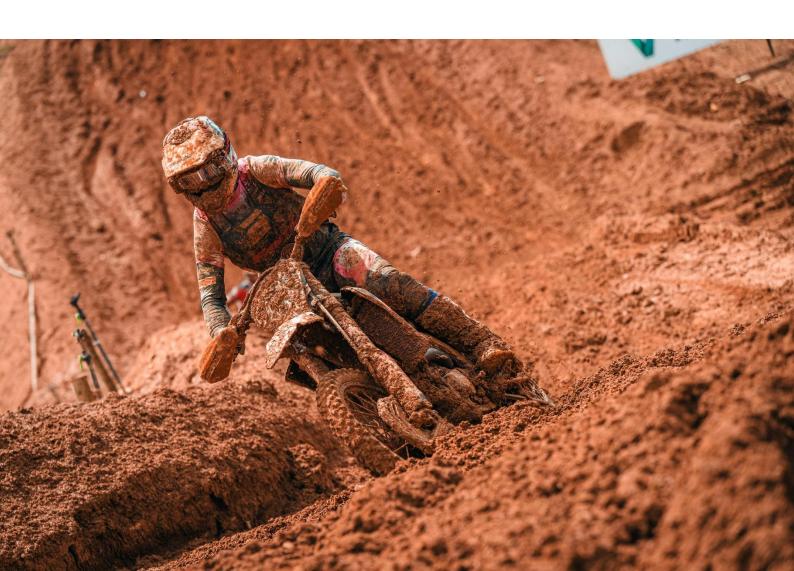
ガースのクラッシュも含まれていた。10 位につけていたアンドレア=ボナコルシがファンティックのトップ。コルデンホフは何とかその背中に追いつこうともがく状態だった。ボナコルシはしかしコーナーの処理に手間取ってポジションを下げて11 位でフィニッシュ。コルデンホフは一方、8 位に滑り込んだ。ボガースも順位を上げて13 位での予選通過となった。

レース当日も地獄は変わらず、スタートは遅延されたが状況に大きな変化はないまま。だがブライアン=ボガースは危険といっていい状況をうまくこなしてレース1の1周目には3位につける。そのままレース前半を素晴らしいペースで走ったボガースはしかし、小さなミスが大きな失敗に結びついてしまい、左肩を脱臼。だがそこからなんとか追い上げて18位に入り、貴重なポイントを獲得した。

アンドレア=ボナコルシは厳しいコンディションの中手堅く6位を確保してファンティック・チームのトップに。 コルデンホフはスタートを大きく失敗して順位回復に手間取り、チェッカーで8位に入るのがやっとだった。

レース 2 のスタートではマシになったコルデンホフ。ボナコルシとともにレース序盤から 6 位を快走した。ファンティック・デュオはミスを避けながら手堅くレースを進め、5 位にはいったボナコルシが総合 4 位に、6 位のコルデンホフは総合も 6 位に入賞した。ボガースはまたも不運に見舞われ、テクニカルトラブルでのリタイヤを余儀なくされてしまった。

レース 1 でイエローフラッグ無視のペナルティを受けることとなったコルデンホフだが、しかしこのコンディションではそもそもフラッグが見えなかったというのに、5 ポイントのペナルティを受けながらもチャンピオンシップ・ランキングは 4 位をキープ。ボナコルシは総合 7 位で次戦、スペインを迎えることになった。



アンドレア=ボナコルシ: 6-5 位の総合 4 位。手堅いレースができたね。土曜日にはこのトラックを攻略しきれていなかったから、この結果には満足しないと。レース中にはいいリズムを掴めたから、MXGP というプレミアクラスで常時 5 位を走るってのは本当に大変なんだけど、その意味でも喜ばないとね。このところ大きく進化し続けていることに本当にファンティック・ファクトリーレーシング MXGP のチームとファンティックのすべてに感謝をささげるよ。彼ら無くしてはこの結果は得られなかったことは間違いない。素晴らしい仕事をやってのけたし、それを誇りに思っているんだ。

グレン=コルデンホフ: いやー、雨は最悪だったね、少なくとも僕にとっては。レース 1 ではスタートでエンジンをストールさせてしまったうえ、2 コーナーでクラッシュだ。最終的にこれで 8 位だったんだから、もう上出来だよ。でもイエローフラッグ無視で 5 ポイント取り上げられたのは残念だ。本当に見えなかったんだからね。レース 2 のスタートはまともで、手堅いレースができたよ。いや、僕なりにプッシュしたんだけど、このコンディションがそれ以上を許さなかったんだ。8-6 の 6 位はもちろん目指していたことではないけれど、今にして思えば怪我もなく得られた結果なんだから悪くないよね。来週末はいいコンディションで、本当のレースができることを望んでいるよ。気分は前向きだからね、来週が楽しみだ。



ブライアン=ボガース:調子は良かったんだよ。レース1で3位を走っていたときは最高だったね。4位との間も大きく差があったからね。でもそこでミスしちゃった上に肩が外れちゃったんだ。何とか戻せて復帰しての18位さ。レース2では肩は問題なかったよ。でもマシントラブルでリタイアになってしまったんだ。タフでなくてはならないことをよく学んだけど、メンタル的には大丈夫だ。7回転んだって、8回起きればいいってことさ。でも実際には、だれも転んでいるときにまた次も転ぶって教えてくれないんだ。なんだかいつも不運にやられっぱなしの感じがして気分的には落ち込むこともあるけれど、メンタルを強く保っていこうと思っている。

ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

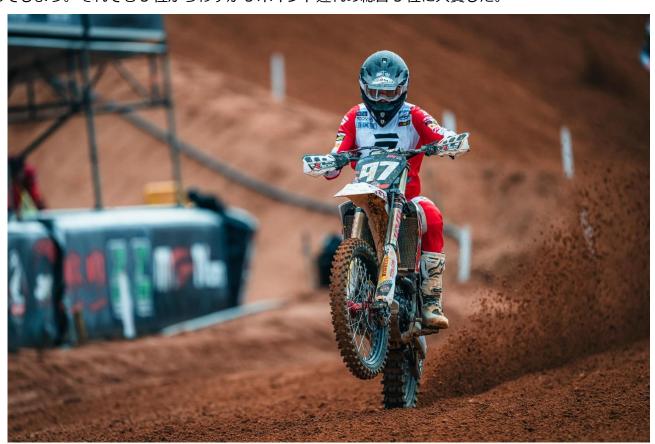
土曜日の練習走行はまだトラックがドライで、その貴重な時間に全ライダーがタイムを記録すべく必死に走りこんだ。ファンティックライダーたちもうまくその波に乗り、EMX250のルーキー、シモーネ=マンチー二は練習走行で3位、計時予選では6位に入ることができた。125ではフランチェスコ=ベレイが4位に入ったが、これはトップからわずか0.508 秒遅れに過ぎなかった。

ベレイは素晴らしいスタートを見せ、1 周目を 6 位で戻ってきた。16 歳のイタリアンは雨がまるでモンスーンの様に強力に降ってきてもその力を緩めず走り、リスクを避けながらも 3 位に入賞する素晴らしい結果を残すことができた。チームメイトのドゥエ=ファン・メクゲレンはオランダ選手権で優勝して気分も上々で乗り込んできたが、トップ 10 からのスタートでマディと格闘。9 位に入り、2 台の XX125 がトップ 10 に入る結果を記録した。

レース 2 はさらにひどいマディとなっていたが、ベレイはペースをつかみ切ってトラックを攻略し、4 位に入ることで総合 3 位を確保した。選手権ポイントも大きく稼ぐことでトップとのポイント差を詰めながらのシーズン総合での 2 位を維持している。ファン・メクゲレンは 2 レースでは 5 位を狙っていたがクラッシュして 8 位に。それでも総合 7 位に入賞となった。

EMX250 では、土曜日のレース 1 でシモーネ = マンチー二が理想的なスタートを見せ快走。ファンティック XXF250 でホールショットを奪うと、ルーキーとは思えないスキルを見せつけながら悪化していくコンディションでもポジションをキープ。残り 4 周目でトップを奪われたものの 2 位でゴールした。

レース 2 はさらに悪化したコンディション下でのレースになった。だがマンチー二は再び見事なスタートでトップグループに食い込み、残り 3 周の時点で 2 位に。しかし視界の悪化でゴーグルを交換せざるを得ず、8 位にまで落ちてしまう。それでも 3 位からわずか 3 ポイント遅れの総合 5 位に入賞した。



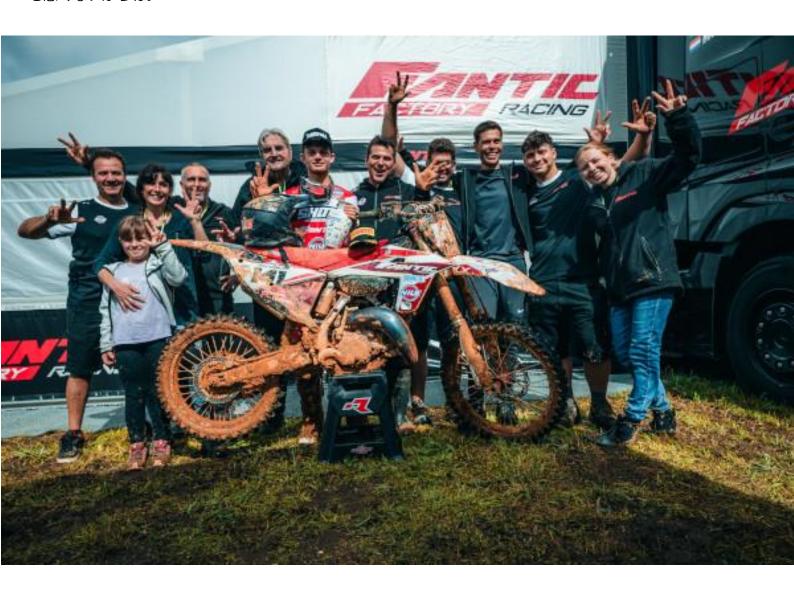
フランチェスコ=ベレイ:またも泥の風呂に浸かっている感じだったけど、手堅いレースができたと思うよ。コースコンディションはレースができなくなるぎりぎりにまで悪化していて、でもチャンピオンを争うには十分にポイントを稼げたといっていいはずだ。次のフランスまでちょっと間が空くけれど、努力を続けていくよ。



シモーネ=マンチーニ:土曜日は本当によかったね。ホールショットも取り、レースは 2 位だった。日曜日もコンディションを除けばそんなに悪くない、、、今年初めのコザールよりもひどい状況だったからね。全力を尽くして走り、何とか表彰台に立ちたかったけど、まあでもできる限りのことはやり切ったし、総合 5 位なら上出来と言わないとね。



ドゥエ=ファン=メクゲレン: 最終的には一貫した週末だったって感じで、まあでもそれが僕の求めているとこ ろだからね。レース2ではトップ3でのゴール目前だったけど、クラッシュで自滅してしまったよ。いや、情け ないけどね、でもこの週末はいろいろ稼げたんだ。計時予選もよく、スタートも2本ともよかったし、まあ結果 も悪くないからね。

































FANTIC FACTORY RACING MXGP -















FANTIC FACTORY RACING EMX











